

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語 131、国語 132 国語 231、国語 232 国語 331、国語 332 国語 431、国語 432 国語 531 国語 631	あたらしいくご上、あたらしいくご下 新しい国語二上、新しい国語二下 新しい国語三上、新しい国語三下 新しい国語四上、新しい国語四下 新しい国語五 新しい国語六
取扱内容  〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕	<p>話すこと・聞くこと 第1,2学年では、聞いたことを伝える活動やおもちゃの作り方を説明する活動、第3,4学年では、司会を決めてグループで話し合う活動やポスターを使って発表する活動、第5,6学年では、主張を明確にして話し合う活動や資料を効果的に活用して発表する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>書くこと 第1,2学年では、生き物を見て気付いたことを書く活動や名人を紹介する文章を書く活動、第3,4学年では、案内状を書く活動やクラスの出来事を新聞にまとめる活動、第5,6学年では、構成を工夫して物語を書く活動や6年間の思いを伝える文章を書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>読むこと 第1,2学年では、乗り物の仕組みについて説明する本を読む活動や場面を選び人物の様子を思い浮かべて音読する活動、第3,4学年では、物語を読んで中心人物の気持ちを想像する活動や広告と説明書を読み比べる活動、第5,6学年では、新聞記事を読んで書き方を比べる活動や関連のある複数の本を読んで友達に推薦する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 第1,2学年では、昔話や神話などを聞いたり読んだりしておもしろいと思ったところを発表する活動、第3,4学年では、リズムを感じ取りながら百人一首を音読してかるた遊びをする活動、第5,6学年では、「竹取物語」や「平家物語」などの文語調の文章を音読する学習活動が取り上げられている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応 「ことばの力」において、第1,2学年では、大事なことを落とさず聞いたり順序を考えて書いたりすること、第3,4学年では、筋道を立てて話したり目的と形式を考えて書いたりすること、第5,6学年では、資料を活用して説明したり意見を書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>内容の構成・排列 第1,2学年では、第1学年で、順序よく話す活動、第2学年で、順序よく、分かるように説明する活動、第3,4学年では、第3学年で、グループでの話し合い活動、第4学年で、学級での話し合い活動、第5,6学年では、第5学年で、情報を活用して文章を書く活動、第6学年で、事実を基に自分の意見を書く活動を取り扱うなど、系統的、発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>内容の分量 第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は7教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は18教材であり、総ページ数は312ページで、前回より約20パーセント増となっている。 第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は9教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は350ページで、前回より約22パーセント増となっている。 第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は366ページで、前回より約20パーセント増となっている。 第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は358ページで、前回より約18パーセント増となっている。 第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約3パーセント増となっている。 第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は290ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>自分の好きなものについてクイズを出す活動（第1学年）や学校行事について案内状を出す活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに読むことの教材に関連した図書を紹介した「こんな本もいっしょに」等を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>「てびき」の欄を設けて学び方を示したり（全学年）、マーク「関係のあるところ」で関連する内容のページを示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>巻末に身に付けた力を他教科等の学習に活用することを促す「『言葉の力』を活用しよう」を掲載する（第3～6学年）とともに第5学年及び第6学年を一冊の合本とし、児童が年間の学習を見通すことができるようにしたり、脚注野に5行ごとの行数字を示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	北海道と関連のある教材は、「日本語のしらべ - 冬」など、9箇所取り上げられている。			

